

産地生産基盤パワーアップ事業

もうかるブランド推進課

産地生産基盤パワーアップ事業（収益性向上対策）

「阿南農業協同組合」の野菜集出荷施設の整備概要

1 産地生産基盤パワーアップ事業（収益性向上対策）について

水田・畑作・野菜・果樹等について、地域の営農戦略として策定する「産地パワーアップ計画」により、収益力強化に計画的に取り組む産地に対して支援を行う。

取組メニューは生産技術高度化施設、集出荷貯蔵施設、農産物処理加工施設等の共同利用施設の整備や資材導入等で、補助率は1／2以内。

2 事業の狙い

阿南農業協同組合は阿南市北部地域において3カ所の集出荷場を稼働させているが、近年生産者の高齢化に伴い利用率が低下するとともに、修繕費等維持管理費も負担になっていることから、集出荷場を1か所に再編整備し、効率的な集出荷場運営を実施し収益性の向上を図る。

3 事業の概要

施設区分	補助率	事業費	補助金
集出荷貯蔵施設	1／2以内	420,200千円	191,000千円

集出荷貯蔵施設

- ・建物 1棟 2,366.9㎡
- ・胡瓜選果機 一式

年間処理量：2.156 t /年

設置場所：阿南市大野町北傍示

4 取組内容

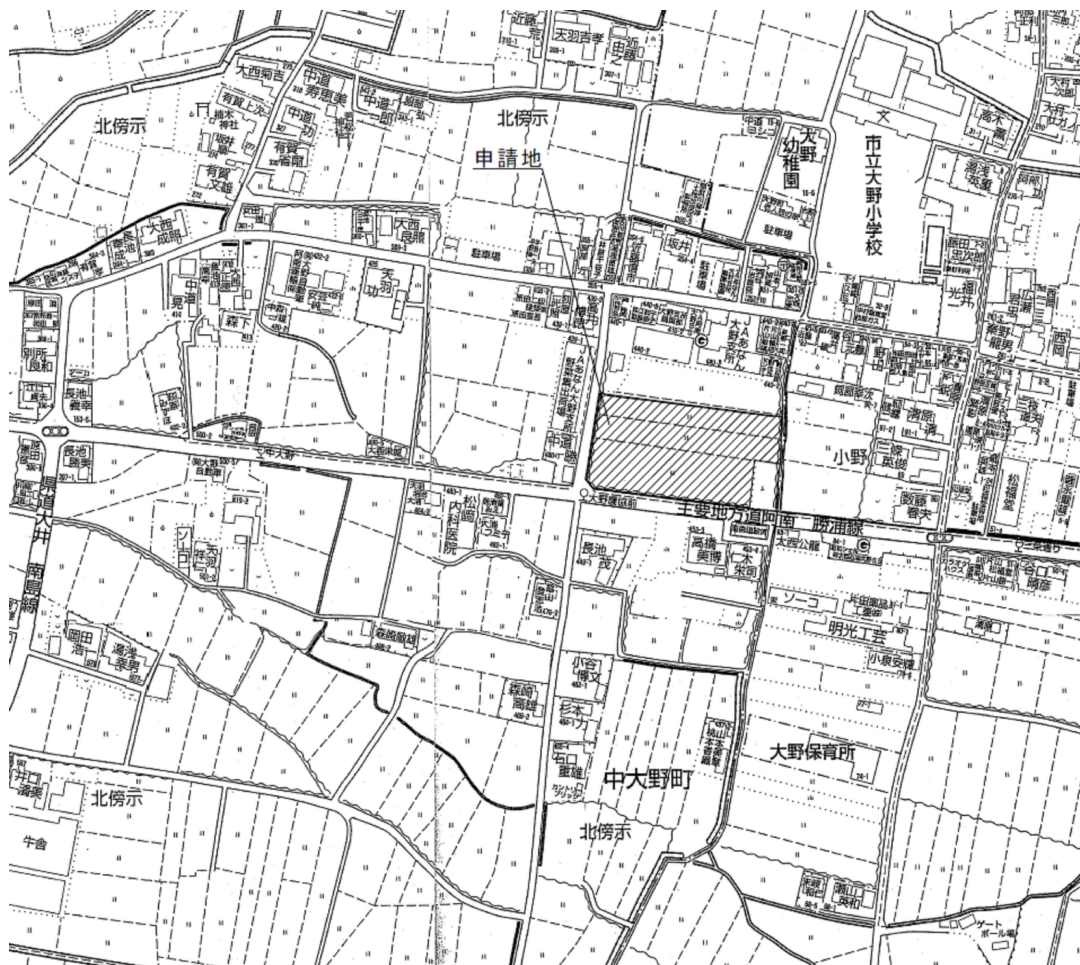
- ・ 再編に伴いJA正職員2名が選果場担当から栽培・経営担当になり、栽培・経営指導の強化により産地拡大や品質向上を図る。
- ・ ハウスきゅうりの着色不良果を選別し、市場評価を高めて単価向上を図る。
- ・ 雇用労賃・光熱動力費等のコスト削減を図る。

5 成果目標

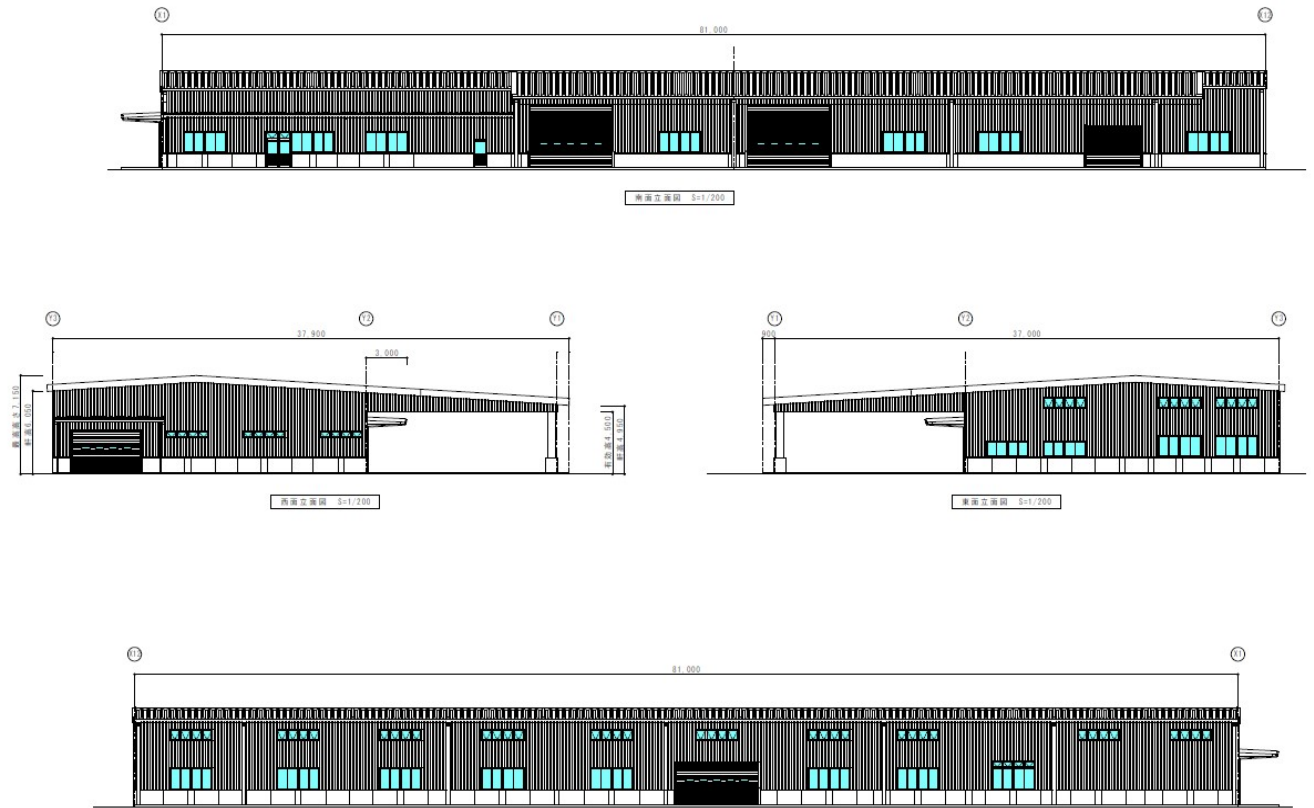
販売額の10%以上の増加

現状（H30）654,191千円 → 目標（R3）720,162千円

○位置図



○施設立面図



○施設平面図

